

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-G28

申請日	2021/12/2	承認日	2021/12/13	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日		承認者	印

G-mFOLFOX6+Nivolumab	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
対象	HER2陰性の治癒切除不能な進行・再発胃癌・胃食道接合部癌 一次治療				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方 法(div.iv.po 等)	投与スケジュール(日)												
			1	5	10	15	20	25	30						
オプジーボ(ニボルマブ)	240mg/body	div	○						○						
レボホリナート	200mg/m ²	div(2hr)	○												
オキサリプラチン	85mg/m ²	div(2hr)	○												
フルオロウラシル	400mg/m ²	div(15min)	○												
フルオロウラシル	2400mg/m ²	civ(46hr)	○→												
投与間隔・休薬期間等: 14日=1コース															

【投与処方例(前投薬など)】治療前には、CVポートを留置すること

*治療開始前に可能な限りPD-L1検査を実施。

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】生理食塩液100mL+オプジーボ /div 30分
- ③ メイン【白-1】生理食塩液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート4mg /div 30分
- ④ メイン【白-2】5%ブドウ糖液100mL /div 30分

- ⑤ メイン【白-3】5%ブドウ糖液250mL+オキサリプラチン /div 2時間
- ⑥' Y側管【水色】5%ブドウ糖液250mL+レボホリナート /div 2時間
- ⑦ メイン【黄】生理食塩液50mL+フルオロウラシル400mg/m² /div 全開
- ⑧ メイン【青】生理食塩液1000mL+フルオロウラシル2400mg/m² /civ 46時間

} 同時に

【ルアーロック】ヘパリンNaロックシリンジ（終了後ポートフラッシュ）

※ **インフューザーポンプ使用の場合（入院の場合は外来移行予定の症例に限る）**

携帯型⑧' 生理食塩液100mL+フルオロウラシル

（生食の量は最終用量が140mLになるように薬剤科で調整） /div 46時間（3.7mL/hr）

制吐剤セット処方④

Day2.3 デカドロン(4mg) 1錠(分1 朝食後)

オキサリプラチン、フルオロウラシルの投与基準

	初回投与量	1段階減量	2段階減量
オキサリプラチン	130mg/m ²	100mg/m ²	85mg/m ²
フルオロウラシル（急速）	400mg/m ²	300mg/m ²	200mg/m ²
フルオロウラシル（持続）	2400mg/m ²	2000mg/m ²	1600mg/m ²

【治療開始基準】

観察/検査項目	開始基準
好中球数	≥ 1500/mm ³
血小板数	≥ 75000/mm ³

参考文献 Check Mste 649試験